

令和8年度

学校自己評価表（計画）

学校運営計画		
学校運営方針	知・徳・体の調和がとれた、個性、感性豊かな人間性を育み、志を持って主体的に学び続ける生徒を育成する。	
三つの方針（スクール・ポリシー）		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①基本的な生活習慣と基礎的学力の定着を図り、自己の課題解決に向けて、主体的に学ぶ力を育みます。 ②特色あるコースの学びにより、専門的な知識、技能を育みます。 ③他者の心情に共感する心を持ち、他者と協働して課題解決に取り組む力を育みます。 ④地域との連携した学びから、郷土への愛着や誇りを持った豊かな人間性を育みます。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①特色あるコースの教育課程、教育活動により、基礎学力と専門分野の知識・技能の定着を図ります。 ②学校行事及び探究学習を充実させ、他者と協働して課題を解決する学習に取り組めます。 ③ICTを利活用し、生徒の興味関心を引き出す「わかる授業」を実施します。 ④地域の施設や企業と連携し、地域理解や専門分野の理解を深める実習の充実を図ります。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	～このような生徒を求めています～ ①本校の教育方針や特色あるコースの教育活動を理解し、自らの目標に向かい、主体的に活動することができる生徒 ②他者を尊重し、様々な課題解決に、協働して取り組むことができる生徒 ③学校や社会のルールやマナーを遵守し、自らを律する心と態度を持つ生徒 ④地域社会に興味関心を持ち、積極的にかかわろうとする生徒	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
生徒が学業等に着実に取り組むよう、また進路実現に向けて、個に応じた指導を行った。 陸上競技部、レスリング部、スキー部が全国大会に出場、入賞した。 基礎学力の向上、学習習慣の定着、進路決定に対する主体的な取組、総合	○「豊かな人間性」の育成・普通教育・特色ある専門教育により豊かな感性や自己有用感を育む。 ・学校行事や部活動での協働をとおして規範意識や他者を敬愛する精神を養う。 ・いじめ見逃しのない、安全・安心な学校生活環境を提供する。	生徒が学校行事等に主体的に取り組み、互いを尊重した態度や行動を育成する。 いじめを見逃さず、生徒の悩み等に迅速に対応するために、定期的にアンケート調査を行い、教職員の組織的対応を徹底する。 部活動や人権教育、同和教育を推進する。教職員自らが範を示すとともに、生徒の考えや思いを傾聴し、学校全体で丁寧かつ継続的な指導を行う。

<p>的な探究の時間における組織的な改善、及び「勤務時間の上限に係る方針」に基づいた教員の時間外勤務削減が、課題として挙げられる。</p>	<p>○「確かな学力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を有効利用するなどわかる授業を実践し、生徒の主体的な学びを支援する。 ・生徒一人ひとりの能力を引き出すとともに、進路実現のため、丁寧な進路指導を行う。 	<p>学び合い、ユニバーサルデザインの視点を活かすとともに、ICTを活用して、生徒の意欲喚起を図り家庭学習習慣を定着させる。</p> <p>基礎力診断テスト等の結果を分析検討し、指導方法の改善を図る。また、体験を重視したキャリア教育を充実させるとともに、生徒一人ひとりに応じた進路指導を実践する。</p> <p>「総合的な探究の時間」において、本校の特色を踏まえて各教科等で講座を設定し、生徒の主体的かつ探究的な学びを推進する。</p>
	<p>基礎体力と運動能力の向上を図り、自己管理能力を高める。</p>	<p>体力テストを実施するとともに、部活動の活性化、健康管理指導の充実を図る。</p>
	<p>業務精選を図り、働き方改革を推進してワークライフバランスの実現に取り組むとともに、生徒と向き合う時間を確保する。</p>	<p>業務の簡素化、効率化を図り、組織的な対応を徹底する。</p> <p>また、部活動を適正に実施するとともに、定時登退庁に対する意識を徹底し、時間外勤務時間を削減する。</p>

重点目標	具体的目標	部署	具体的方策	評価
<p>確かな学力の育成</p>	<p>主体的協働的な学びを推進し、学習習慣の定着や基礎的事項の理解を確実なものとする。</p>	<p>教務部</p>	<p>ICTを含む教育環境の整備</p>	
		<p>1 学年</p>	<p>(1) 基本的生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣の定着を促し、心身の健康を大切に育てる。 ・日々の予定を意識させ、必要な情報を自ら収集し、行動できる力を育む。 <p>(2) 学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を厳守し、遅刻をしない意識を高める。 ・集中して学習に取り組めるよう、身の回りの整理整頓や環境整備を意識させる。 <p>(3) 学習習慣の定着と各種資格取得への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不得意な教科・科目に対しても、諦めずに取り組めるよう支援する。 ・自らの可能性を広げることの大切さを伝え、各種検定試験への挑戦を促す。 <p>(4) 進路について「知る」ことを大切にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な職業や進路について知る中で、自らの将来について考える態度を育てる。 	
		<p>2 学年</p>	<p>(1) 基本的生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を守り自ら挨拶し、正しい服装、頭髪を徹底する。 ・学校行事や部活動に積極的に参加し、時間の有効活用を促すとともに社会性を育成する。 ・定期的な面談により生活、学習、精神の各面を把握し、適切な指導や支援を行う。 <p>(2) 学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室、自分の身の回りの整理整頓を促し、学習環境を整 	

			<p>え、学習習慣の定着につなげる。</p> <p>(3) 学習習慣の定着と各種資格取得への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習に重点を置き、毎日1時間の家庭学習時間を確保、継続させる。 ・不得意な教科・科目に対しても、意欲的に取り組む姿勢を育成する。 ・各種検定試験に挑戦することの重要性を理解させる。 <p>(4) 自分の進路を「選ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集をしっかりと行い、比較検討することで、自分にとって最適な進路を明確化させる。 ・特色ある専門教育を生かした進路実現を促す。 		
	3 学年		<p>(1) 「豊かな人間性」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、身だしなみ、時間厳守などの基本的な生活習慣を完全定着させる。 ・最上級生として自ら環境整備に努め、後輩の模範となる行動を促す。 <p>(2) 「確かな学力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を最重要視して主体的に参加させ、進路実現に直結する学力を養う。 ・不得意科目や資格取得にも継続的に努力し、目標達成の喜びを体験させる。 <p>(3) 「進路実現の実践的な力」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの進路を切り拓く強い意志と行動力を育成する。 ・適性や学科の特性を踏まえ、保護者と十分に協議した上で進路を決定させる。 		
	進路指導部		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストの結果等、適切な情報を学年に提供し、指導に活かす。 		
	各科共通		<ul style="list-style-type: none"> ・学び合い、ユニバーサルデザインの視点を活かした授業改善を行う。 ・生徒の実態や場面に応じて、ICT機器を効果的に活用する。 		
	国語		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉による見方・考え方を働かせた学び合いの授業をとおして、国語の面白さを追求する。 		
	地理歴史 公民		<ul style="list-style-type: none"> ・プリント、補助教材、視聴覚教材等を活用したわかりやすい授業を実践する。 		
	数学		<ul style="list-style-type: none"> ・教え合う等の学び合いを重視した授業を展開する。 		
	理科		<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノートやプリント、視聴覚教材等を活用し、実験等を通じて周りとの協力しながら学び、理解を深めることができる授業を実践する。 		
	保健体育		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通してスポーツを継続するとともに、スポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 		

		芸術	・作品制作等を創造的かつ計画的に進め、目標に向かって主体的に行動する能力と態度の向上を図る。		
		外国語	・英語でのコミュニケーションの楽しさを示し、分かりやすい授業を展開する。		
		家庭	・実習や体験学習を計画に沿って実施し、学び合う中で知識や技術の定着を図る。		
		情報	・情報に関する見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報や情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識・技能を身に付けるとともに、実社会で活用する力を育成し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
		福祉	・資格取得や高齢者、障害者等との関わりを通し、福祉に関する知識・技術の習得を図る。		
		商業	・資格取得や検定合格を目指した学習を通して、商業に関する知識・技術の習得を図るとともに、地域連携の取組を通して地域社会への理解を深め、実践的な資質・能力を育成する。		
進路実現への挑戦	・希望進路達成への支援 ・進路に対する意識啓発	進路指導部	・上級学校見学、進路ガイダンス等により進路意識の啓発を図る。 ・就職指導及び進路実現に向けたキャリア教育を充実する。 ・基礎力診断テスト、進路適性検査を有効に活用する。 ・全職員で小論文、面接指導を行うための研修と割り振りを行う。		
	進路情報提供の充実	進路指導部	・進路情報を適切に提供する。 ・高卒 Web（求人票情報）を有効に活用する。		
豊かな人間性の育成	いじめのない望ましい人間関係の確立	人権教育、同和教育推進委員会	・教員が各種研修会に参加し、学び得たことをもとに生徒に正しい知識や考えを伝え、生徒が客観的な事実に基づき、俯瞰的な視点から様々な事象について適切に判断できるようになる人権教育、同和教育を実践する。 ・小・中学校における人権教育、同和教育の内容や学びをふまえ、生徒の状況に即した効果的な学習を展開する。		
		いじめ防止対策委員会	・いじめアンケート等にもとづき、いじめの早期発見、早期対応に努める。		
		生徒指導部	・SNS等、ネット利用に関する指導を充実する。		
		教育相談委員会	・教育相談、特別支援教育等に関する情報提供を行う。 ・UDLを用いた授業の展開を通じ、生徒の自己肯定感の育成、対人関係スキルの向上を図る。 ・必要に応じてSCやSSWを活用する。		

		福祉科	・相手の思いに沿った支援を学ぶ活動を通して、他者への共感的理解を大切にする姿勢を育成する。		
	学校行事、部活動の推進	生徒指導部	・学校行事や部活動を充実させ、心身を鍛えて積極的に挑戦する意志を育む。		
生徒指導の充実	教職員の共通理解	生徒指導部	・スマートフォン等の使用マナーの指導を強化する。 ・清掃活動を通して、校内の美化に努める。		
	基本的生活習慣の確立	生徒指導部	・校内外における挨拶を励行する。 ・マナーの向上と基本的生活習慣の定着を図る。		
総合的な探究の時間	職員と地域の連携に基づく未来に向けた人材育成	全職員	・生徒が主体的に自らの生き方について考える機会を設定し、テーマに基づく探究活動を行うよう指導する。 ・地域連携を推進し、他者との協働による課題解決能力の育成と地域理解を促す。		
基礎体力と運動能力の向上	心身の健康に対する関心	生徒指導部	・健康管理を積極的に行う生徒を育成する。 ・関係機関やＳＣ等と連携して、健康相談の充実を図る。		
	基礎体力や運動能力の向上	保健体育科	・保健体育の教科において体力テストを実施する。 ・個人種目の全国大会入賞に向け専門種目を充実させる。		
働き方改革	・部活動の適正な実施 ・業務の簡素化、効率化	全職員	・複数顧問や輪番制により、部活動業務を分担する。 ・定時退庁日は17時45分までに退庁する。 ・業務削減を図り、生徒と向き合う時間を確保する。		
成果					総合評価